

## 店舗勤務者の特性に合わせた禁煙支援モデル事業の構築

### 参加団体

デパート健康保険組合（主幹事）、オオゼキ健康保険組合、カスミ健康保険組合、住友不動産販売健康保険組合、兵庫トヨタ自動車健康保険組合、マルハン健康保険組合、全6健康保険組合※  
大阪国際がんセンター、帝京大学、株式会社JMDC  
※加入者1万人未満 3健康保険組合 対象：店舗勤務者が加入者にいる健康保険組合

### 背景・目的

健康保険組合は、事業主と連携し、就業時間内禁煙や敷地内禁煙、禁煙支援事業の推進など様々な禁煙対策を実施し、全体の喫煙率は減少傾向にあるものの、**店舗に勤務している者の喫煙率は高いままで、対策が難しいという課題がある。**店舗勤務者は、接客業務によるストレス、長時間労働や出勤時間が不規則であること、喫煙率が高い店舗の場合は、周囲の喫煙状況にも影響され、禁煙が困難になる可能性が考えられる。特に店舗勤務者は、業務により非喫煙者と接することも多く、企業としても三次喫煙（サードハンドスモーク）の予防のため、出勤前を含む就業時間中の禁煙や敷地内禁煙を実施する企業も多くあるが、店舗勤務喫煙者が減少しないという課題をもつ企業も多い。そのため、**店舗勤務の喫煙者の特性をアンケート調査で把握し、専門家の支援を得ながら事例などを踏まえ、効果的な禁煙支援方法を検討し、店舗勤務者の特性に合わせた禁煙支援のモデル事業を構築する。**

### 事業内容

- ・ 店舗勤務者の喫煙対策事業の事例や課題の情報共有、専門家講演&グループディスカッション、アンケート調査や資料の検討ミーティングを実施。
  - ・ 専門家の協力を得てアンケートの設問を検討した上で、本事業参加健康保険組合により合同のアンケート調査の実施。
  - ・ アンケート調査結果や専門家講演やディスカッションを通して、ポスターを共同制作。
- ミーティング  
①キックオフミーティング ② 情報共有・調査検討ミーティング ③ 専門家講演およびディスカッション  
④専門家講演・調査報告・取り組み検討ミーティング ⑤ 資料の検討・活用ミーティング ⑥ 最終ミーティング
- アンケート調査  
健康保険組合共同でのアンケート調査（喫煙場所、喫煙への意識や知識など）の実施。

### 効果・成果

#### アウトプット

- ① アンケート調査により、店舗勤務の喫煙者の特性を明らかにし、店舗で実践可能な対策案を複数あげる。  
✓ アンケート調査を実施し、特性を明らかにしたうえで対策案を複数あげた。
- ② 店舗勤務者の禁煙を推進する資料を保険者共同で企画し、作成する  
✓ 共同で企画した2種類のポスターを制作した。

#### アウトカム

- ① 資料を活用し、店舗で実践可能な対策案を事業主に提案し、加入者に向けて取り組み（介入）を実行する。  
✓ 3つの健康保険組合で実行し、その他は近日中に実行予定。
- ② 店舗勤務の喫煙者の特性に合わせたモデル事業を構築する。  
✓ 店舗勤務の喫煙者の特性に合わせた効果的な対策についてまとめた。
- ③ 各健康保険組合で事業計画を立案する。  
✓ すべての健康保険組合で事業計画を立案した。

#### 制作したポスター



## 1. 目的

### ■保健事業としての目的

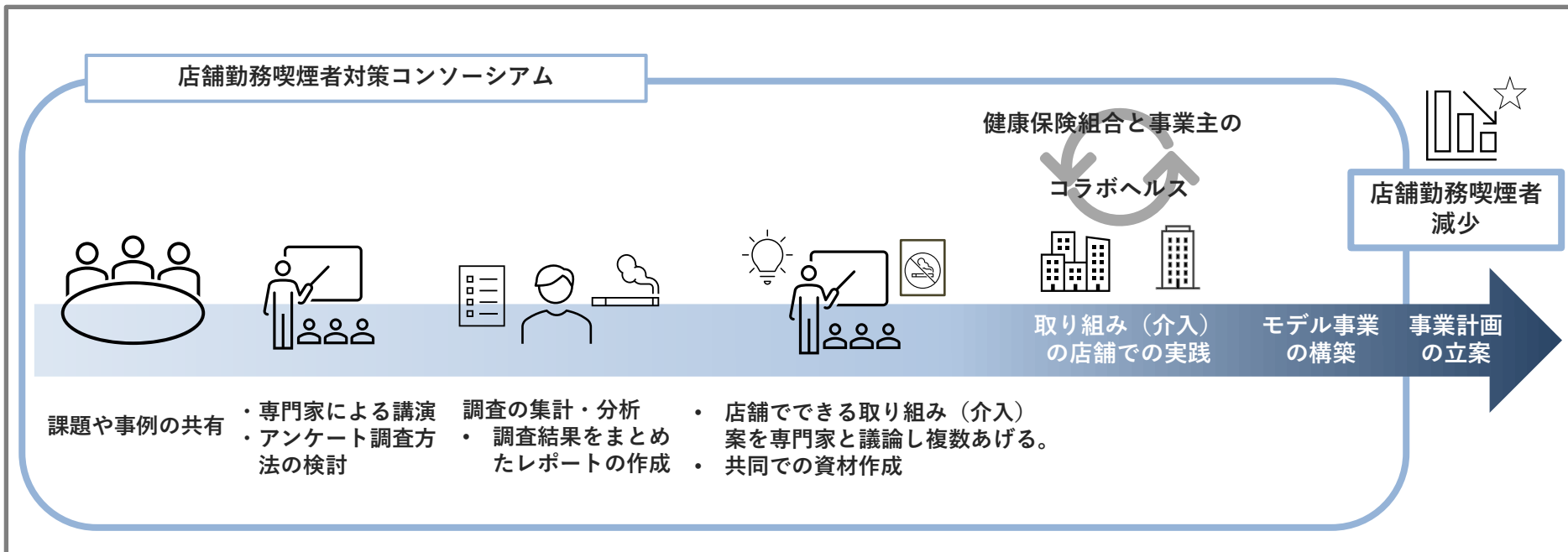
健康保険組合は、事業主と連携し、就業時間内禁煙や敷地内禁煙、禁煙支援事業の推進など様々な禁煙対策を実施し、全体の喫煙率は減少傾向にあるものの、**店舗に勤務している者の喫煙率は高いままで、対策が難しいという課題がある**。店舗勤務者は、接客業務によるストレス、長時間労働や出勤時間が不規則であること、喫煙率が高い店舗の場合は、周囲の喫煙状況にも影響され、禁煙が困難になる可能性が考えられる。特に店舗勤務者は、業務により非喫煙者と接することも多く、企業としても三次喫煙（サードハンドスモーク）の予防のため、出勤前を含む就業時間中の禁煙や敷地内禁煙を実施する企業も多くあるが、店舗勤務喫煙者が減少しないという課題をもつ企業も多い。そのため、**店舗勤務の喫煙者の特性をアンケート調査で把握し、専門家の支援を得ながら事例などを踏まえ、効果的な禁煙支援方法を検討し、店舗勤務者の特性に合わせた禁煙支援のモデル事業を構築する**。

### ■共同事業としての目的

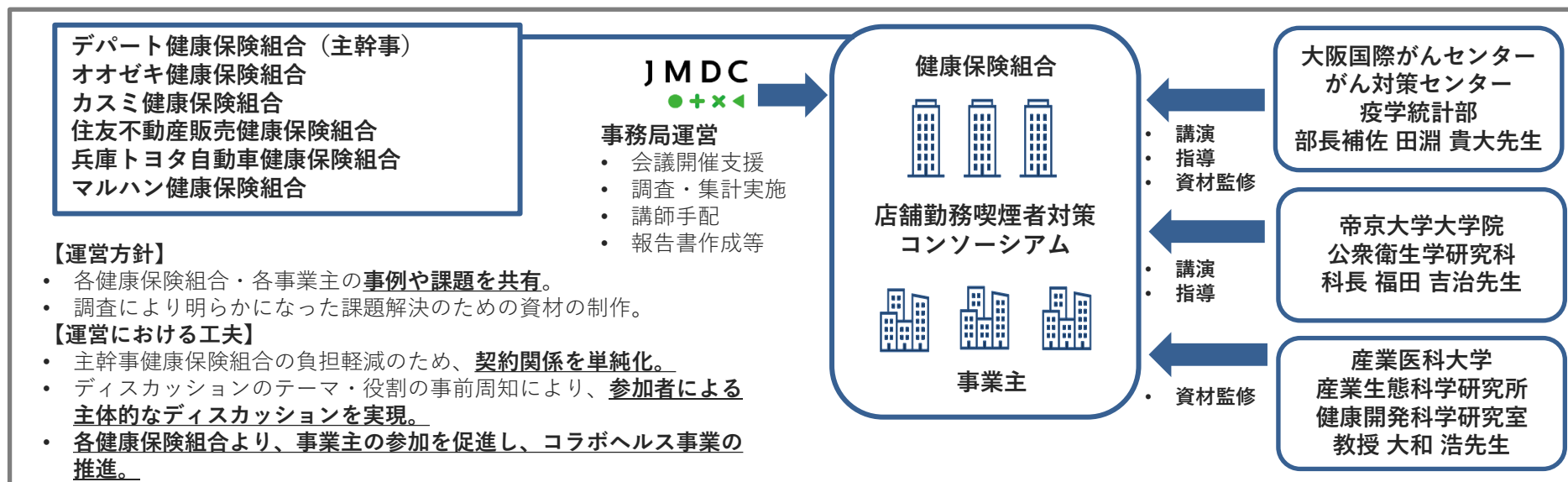
中小規模の健康保険組合では店舗勤務者の特性を把握するための十分な調査対象者がいないことや、店舗勤務者に着目した事業の検討は、単独の健康保険組合では難しい。共同事業にて、**喫煙者の属性別およびアンケート調査等の分析結果を共有することで、単独の健康保険組合では見えにくい、店舗勤務喫煙者の特徴を複数の健康保険組合と比較しながら捉えることができる**。

調査結果より、課題解決に影響する要因を明らかにした上でタバコ専門家の意見を踏まえて、**店舗で実践できる取り組み（介入）として、ポスターを共同で制作し、配布・掲示を行う**。

## 2. 事業内容



## 3. 共同事業の運営方針



#### 4. 主な活動報告

##### ミーティングの内容および参加者数

ミーティング内容	詳細	日時	場所	会議参加者数 (健康保険組合数・企業数)		
				合計	健康保険組合	企業
キックオフミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容・スケジュールの共有、自己紹介</li> </ul>	7月29日(金)	Zoom	11(6)	11(6)	0
課題共有・調査検討ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>各健康保険組合による喫煙率や禁煙推進の取り組みの共有。</li> <li>店舗勤務者の特徴や課題の共有</li> <li>調査方法、内容の検討。</li> </ul>	8月22日(月)	Zoom	10(6)	9(5)	1(1)
田淵先生講演・調査内容検討ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>田淵先生による講演「喫煙者を取り巻く環境、加熱式タバコについて（サードハンドスモーク含）」</li> <li>調査内容のディスカッション</li> </ul>	9月6日(火)	Zoom	20(10)	15(6)	5(4)
福田先生講演・調査報告・取り組み検討ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>福田先生による講演「ナッジを活用した喫煙対策」</li> <li>調査結果の中間報告</li> <li>取り組み案の検討。</li> </ul>	11月17日(木)	Zoom	20(9)	17(6)	3(3)
資材の検討・活用ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>資材の内容の決定</li> <li>資材の活用方法や、事業主への提案方法の検討。</li> </ul>	12月15日(木)	Zoom	11(7)	10(6)	1(1)
最終ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗での実践状況や課題の共有</li> <li>調査結果の最終報告</li> <li>今後の取り組み計画のご報告</li> <li>モデル事業の検討</li> </ul>	3月14日(火)	Zoom & 対面	11(7)	10(6)	1(1)

## 5. 主な活動報告

専門家講演①	講師 大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部部長補佐 田淵貴大先生
講演テーマ	喫煙者を取り巻く環境、加熱式タバコについて
参加者の感想や気づき	<ul style="list-style-type: none"> <li>当健康保険組合のアンケート結果から加熱式タバコへの移行が進んでいることが分かったが、田淵先生のご講演を聞き、改めて加熱式タバコの危険性を理解してもらう必要があると思った。</li> <li>加熱式タバコと紙タバコ、素人判断では加熱式タバコは健康への害が低いのでは？と感じていたが、その見解が大きく間違っていることを知った。</li> <li>加熱式タバコ利用者の、長期目線での人体への影響を知るのが怖く感じた。</li> <li>なぜタバコを吸い始めたかという原因に着目していたが、原因が重要ではないというお話が目から鱗だった。現状把握と、今後の喫煙行動にどう勧奨していくかに注力しようと思った。</li> <li>加熱式・電子タバコは有害であることは知っていたが、内容までは知らなかった。コロナで一般的な用語となったエアロゾルは、コロナウィルス感染の中心であり、サードHANDSモークまで含めると、喫煙の影響力は大きいと感じた。</li> <li>加熱式タバコに含まれる有害成分がかなり多いという情報はあまり知られていないのではないか。まずは情報を発信することも必要と思った。</li> <li>今後もサードHANDSモークの健康影響のエビデンスがあったら共有いただきたい。</li> <li>加熱式タバコの最新情報が伺えよかった。</li> </ul>

専門家講演②	講師 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 科長 福田吉治先生
講演テーマ	ナッジを活用した喫煙対策について
ディスカッション	店舗でできる喫煙対策
参加者の感想や気づき	<p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙事業へのナッジの活用は出来ていなかったため、来期スモールスタートでも実施できるよう検討したい。</li> <li>単に「喫煙者」への1つのアプローチに留めず、年齢別・喫煙年数別・男女別等、もう少しターゲットを細分化してナッジ理論に基づいた発信を行うと今より効果が得られそうな気がした。</li> <li>本来ナッジは有効な気がするが、岩盤層には難しいので、喫煙者の気持ちも尊重しつつ、寄り添いながら禁煙対策できればよい。</li> <li>”悪”ナッジは、特に印象的であった。</li> <li>ナッジ理論としてはある程度理解できても、応用するのはハードルが高かった。その後、敷地内禁煙が導入され、ある程度の対象がオンライン禁煙に成功したが、それ以降は参加者が途絶えた。再度、禁煙への動機づけをするためにナッジ理論を考慮したい。</li> <li>ナッジ理論の事例紹介記載のジャムの実験・少ないほど魅力的・どちらを選ぶは、商品関係に携わっていた時に活用していたのですぐ理解出来たが、禁煙に活用となるとなかなかイメージがわからない状態ですが、チャレンジはしたいと考えている。</li> </ul> <p>【ディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コラボヘルスによって禁煙事業を推進していくという点において、当健康保険組合の取組不足を感じる点が多かった。</li> <li>同じ「店舗勤務者」の喫煙対策について、過去に意見交換をしたことがなかったので、面白かった。会社側の「喫煙」に対するアクションは様々で温度差があるが、喫煙者を無くしたいという意見は一致しているので、これからも意見交換したい。</li> <li>合同アンケートの結果で、社内の禁煙対策の認知度が低かったことにショックを受けた。全体的に知られていないのは健康保険組合の広報の仕方に工夫の余地がある、と意見が出た。また、たばこの害に関する理解も、まだまだ浸透していないので、教育の場も増やせばよい。</li> <li>他社の健康保険組合のお話を聞き、今後の喫煙対策のヒントをたくさん得ることができた。このような機会はとても有難かった。</li> </ul>

## 6. 主な活動報告

アウトプット①アンケート調査により、店舗勤務の喫煙者の特性を明らかにし店舗で実践可能な対策案を複数あげる。

課題	対策
<p><u>店舗勤務の喫煙者は、職場における喫煙ルールにおいて、「屋内に利用できる喫煙所がある」と回答した割合が高い。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）①</p>	<p><u>事業主との連携による敷地内禁煙や、就業時間中禁煙の実施や喫煙ルールの厳格化。</u></p>
<p>対象者の<u>店舗勤務や喫煙の有無にかかわらず、6割以上が喫煙理由は「ストレス解消のため」と、回答している。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）②</p>	<p><u>喫煙がストレス解消にはならず、ニコチン依存症の症状であることの情報発信、教育。</u> ※共同制作したポスターに掲載</p>
<p><u>禁煙対策については、健康保険組合でさまざま実施されているが、約5割が「あてはまるものはない」と回答しており、認識されていないことが示唆された。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）③</p>	<p>各健康保険組合で、<u>禁煙対策事業の広報の仕方について改めて検討</u>（事業主と連携した発信、繰り返しのデータ配信、ターゲットを想定し、ポスターを活用しながら季節を変えて情報発信、出産のタイミングでの配布など）する。 <u>制作したポスターを店舗での掲示や、ICTを活用してデータ配信、紙面での配布（健診結果、入社書類などへの同封）などで繰り返し伝える。</u></p>
<p><u>受動喫煙の健康影響について、認識されていないリスクが複数があった。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）④</p>	<p><u>受動喫煙に関しての職場での従業員や管理職等への教育。</u></p>
<p><u>加熱式タバコの受動喫煙のリスクについて喫煙者も認識していない。また、加熱式タバコの知識は、喫煙者よりも非喫煙者において理解されていない。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）⑤</p>	<p><u>加熱式タバコにも喫煙による健康リスクや受動喫煙のリスクがあることを伝え、特に非喫煙者の若い世代が新たに喫煙を開始するのを予防するための、情報発信、教育。</u> ※共同制作したポスターに掲載</p>
<p><u>サードハンドスモークについて5-6割が「聞いたことがない」と回答している。特に、店舗勤務の非喫煙者においてその割合が高い。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）⑥</p>	<p><u>サードハンドスモークの認識を高めるための情報発信、教育（特に接客において注意すべきであることについて）。</u> ※共同制作したポスターに掲載</p>
<p>対象者の喫煙の有無にかかわらず、「<u>タバコは嗜好品である</u>」と6割近くが回答しており、<u>特に喫煙者においてその割合が高い。</u> ※合同アンケート調査の結果（抜粋）⑦</p>	<p><u>やめられない喫煙はニコチン依存症であることの情報発信、教育。</u> ※共同制作したポスターに掲載</p>

## 7. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の概要

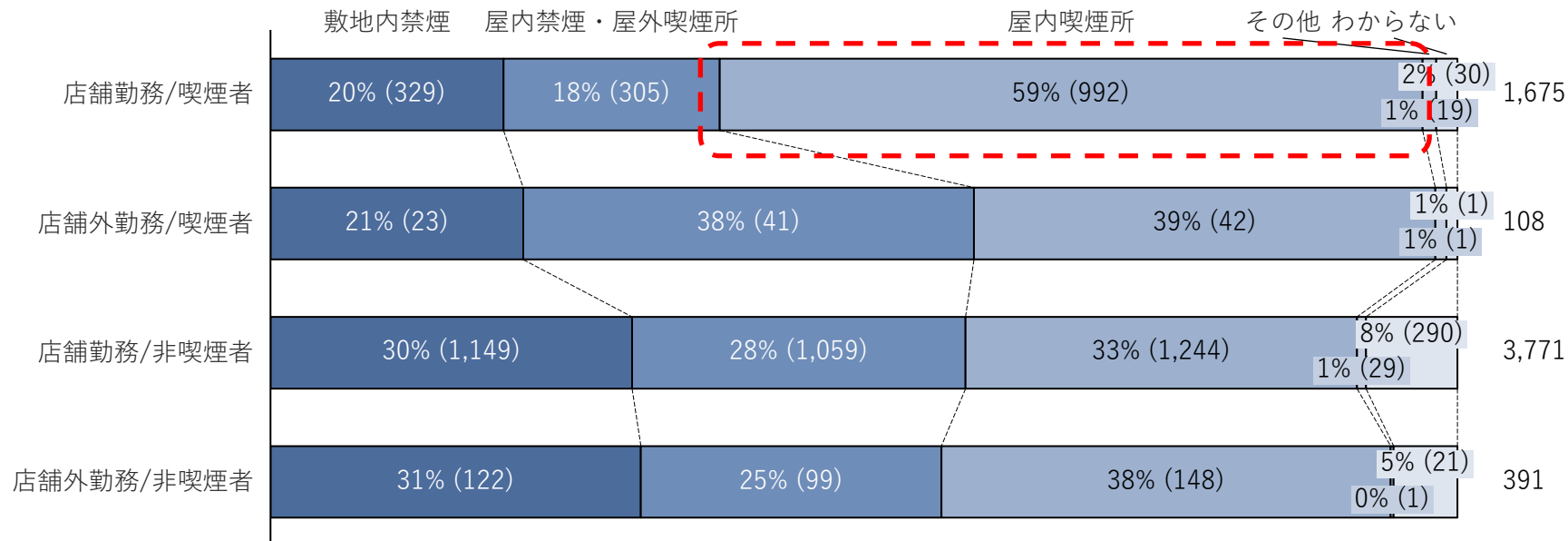
店舗を有する企業の5つの健康保険組合の被保険者を対象にWebによるアンケート調査を実施。調査内容は、喫煙理由、周囲の喫煙者、職場の喫煙場所・喫煙対策・必要な喫煙対策、禁煙のきっかけ、受動喫煙の健康影響、加熱式タバコの知識、サードHANDSモークの認識、加納式社会的ニコチン依存度調査表(Q2-5)、喫煙タイミング、タバコの種類・本数・年数、禁煙ステージとした。回答は、店舗勤務喫煙者・非喫煙者、店舗勤務外の喫煙者・非喫煙者に分けて集計し比較した。

回答者は5,948名(回答率30.4%)で、店舗勤務者92%(男性57%、喫煙者31%)、店舗勤務外者8%(男性87%、喫煙者22%)

### 合同アンケート調査の結果(抜粋)①

店舗勤務の喫煙者は、「屋内に利用できる喫煙所がある」と回答した割合が高い。

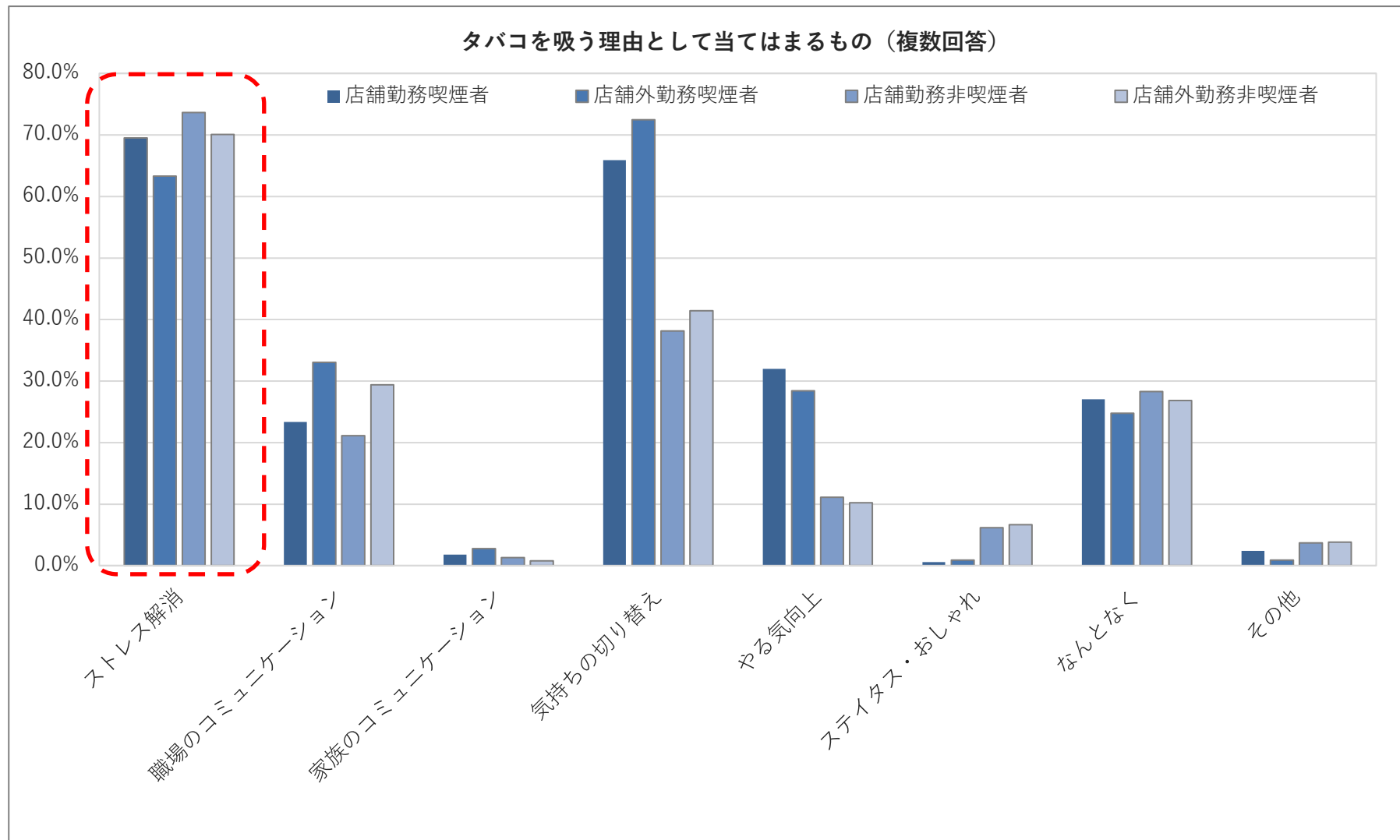
あなたの職場における喫煙ルールに最も近いものを選んでください。(喫煙場所)



## 8. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の結果（抜粋）②

店舗勤務や喫煙の有無にかかわらず、6割以上が喫煙理由は「ストレス解消のため」と回答していた。



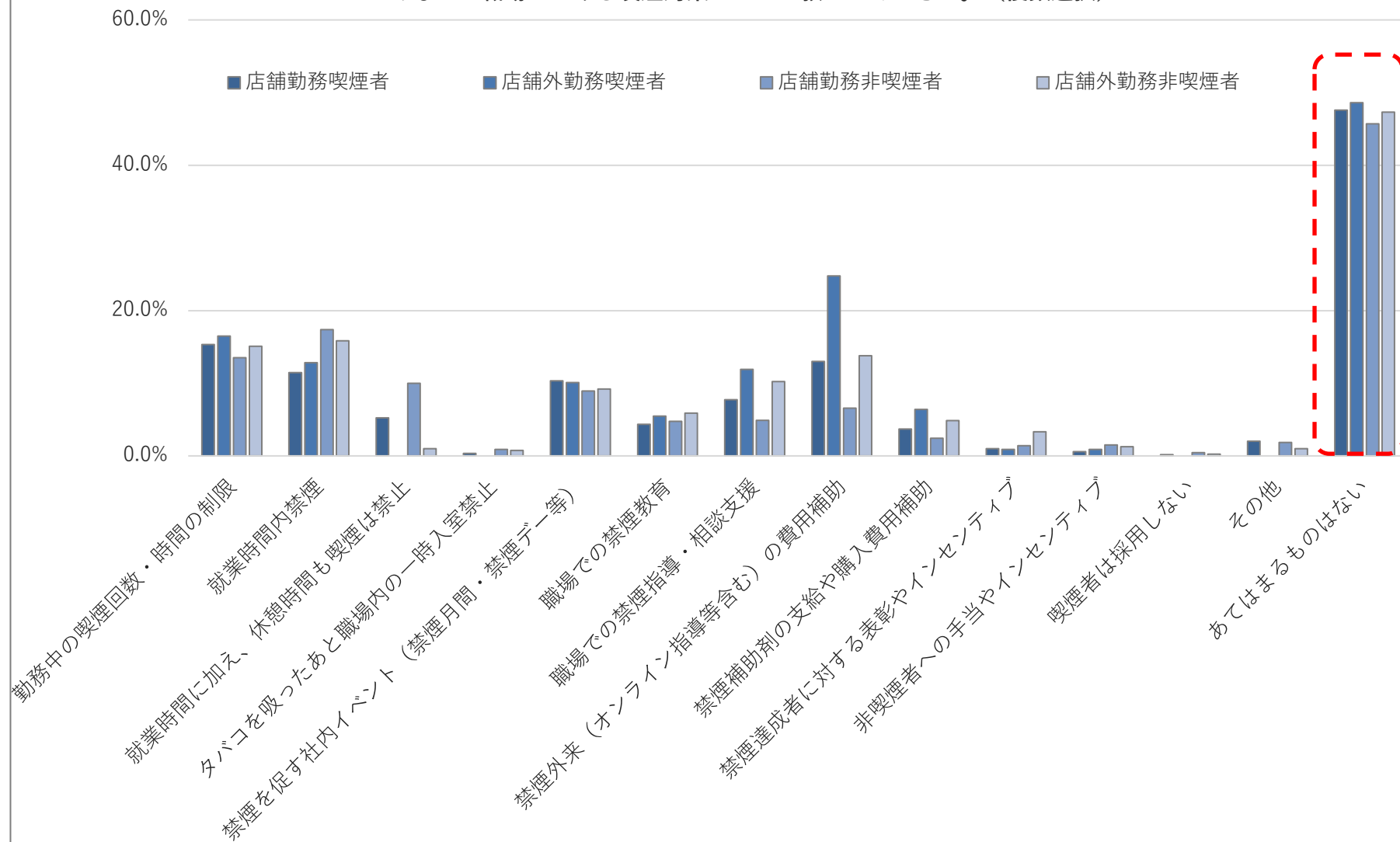


## 9. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の結果（抜粋）③

健康保険組合でさまざまな施策が実施されているが、約5割が「あてはまるものはない」と回答していた。

あなたの職場における喫煙対策について教えてください。（複数選択）

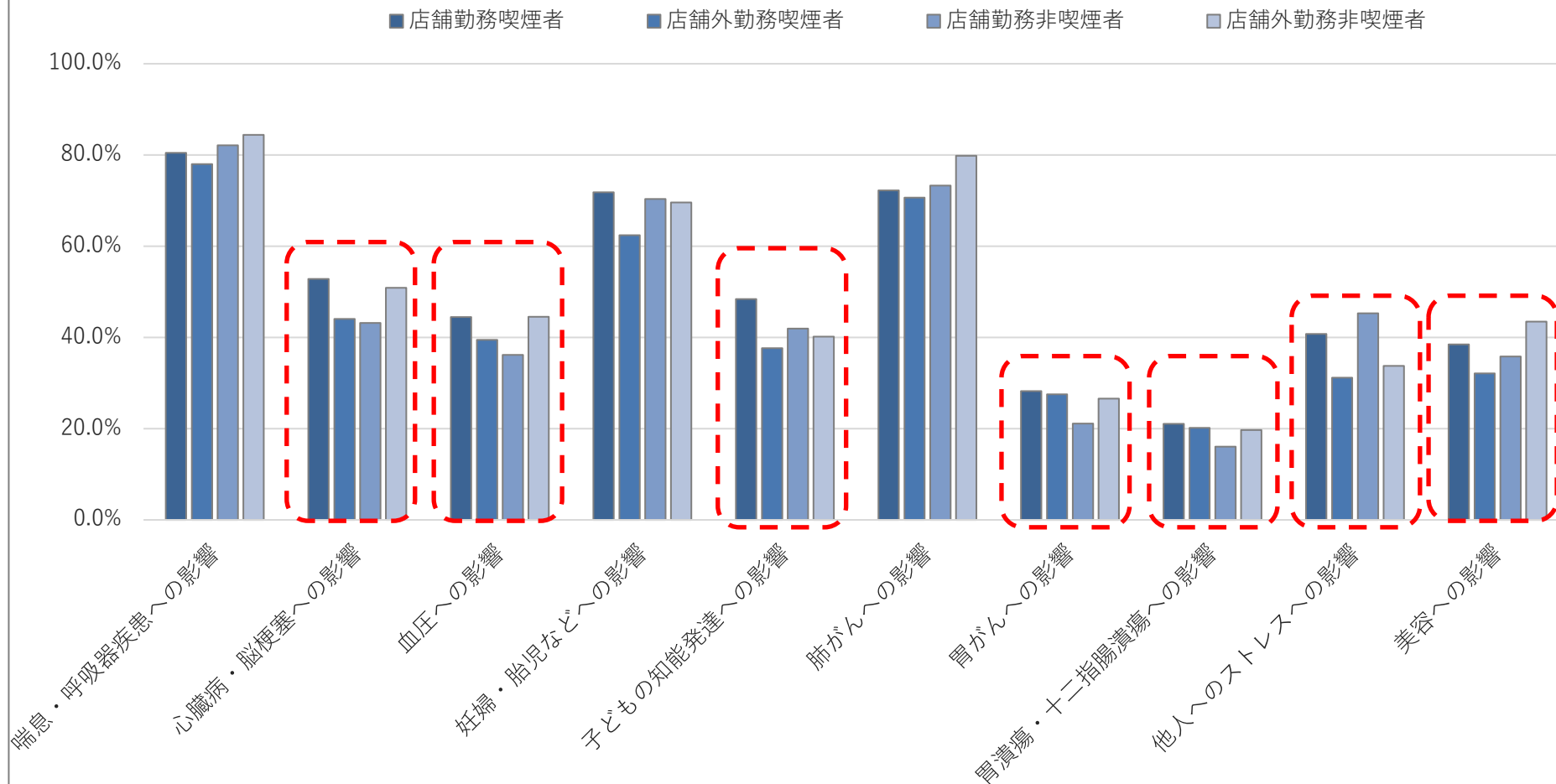


## 10. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の結果（抜粋）④

受動喫煙の健康影響について、認識されていないリスクが複数存在した。

受動喫煙の健康影響（複数回答）

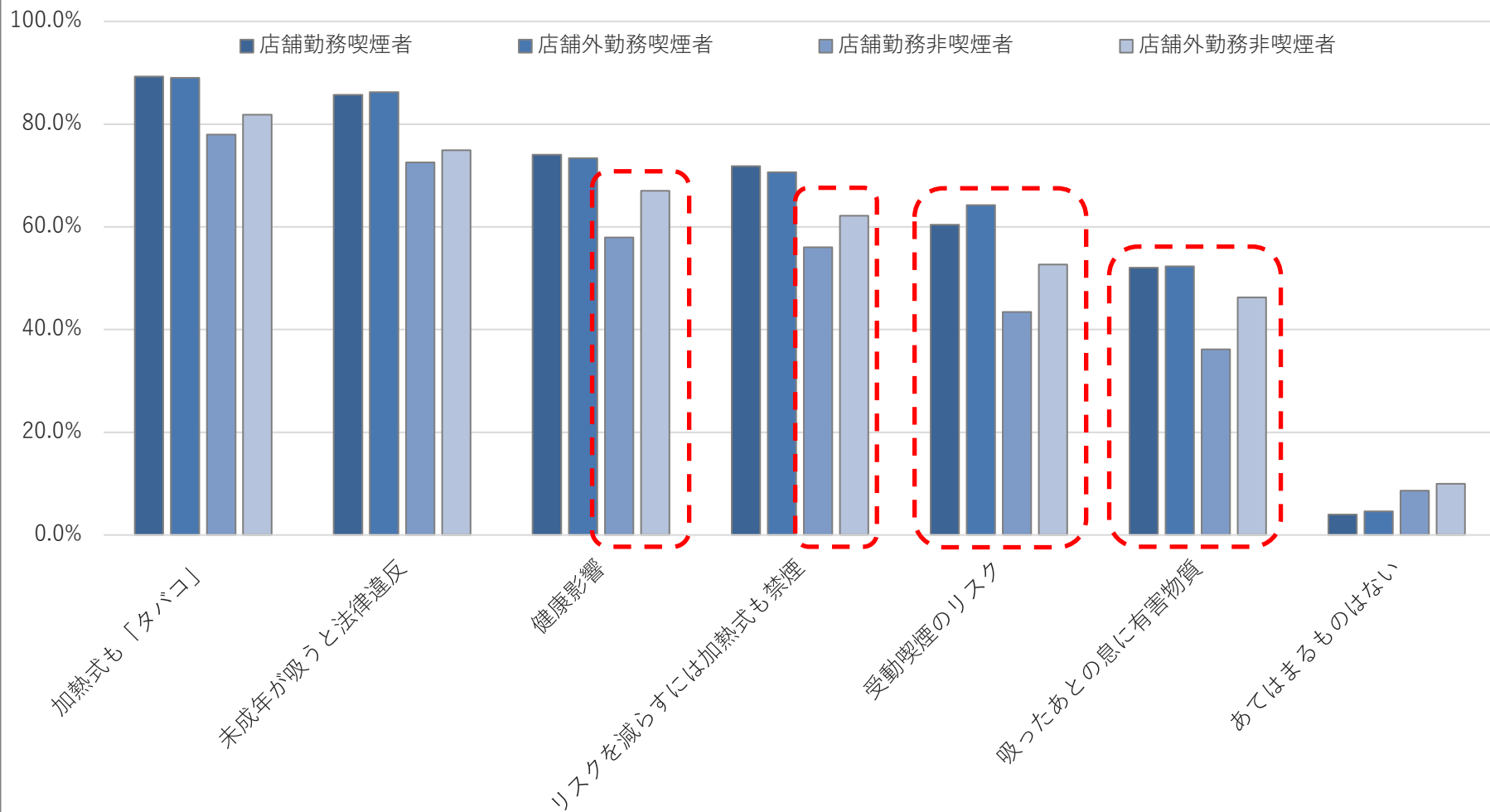


## 11. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の結果（抜粋）⑤

加熱式タバコの受動喫煙のリスクについて喫煙者も認識していない。また、加熱式タバコの知識は、喫煙者よりも非喫煙者において理解されていない。

加熱式タバコについて知っていることを選んでください。（複数選択）

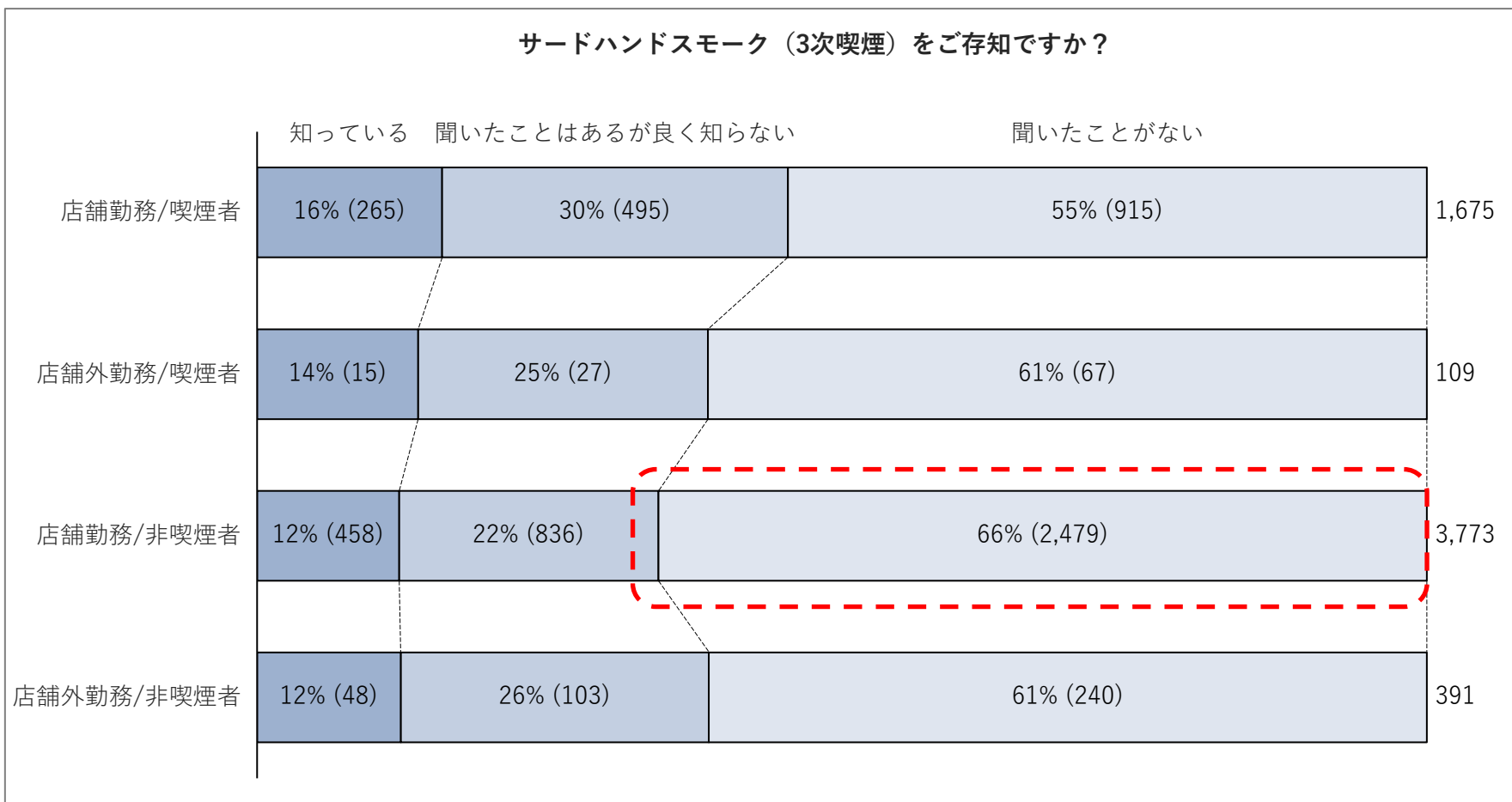


## 12. 主な活動報告

### 合同アンケート調査の結果（抜粋）⑥

サードハンドスモークについて5-6割が「聞いたことがない」と回答している。特に、店舗勤務の非喫煙者においてその割合が高い。

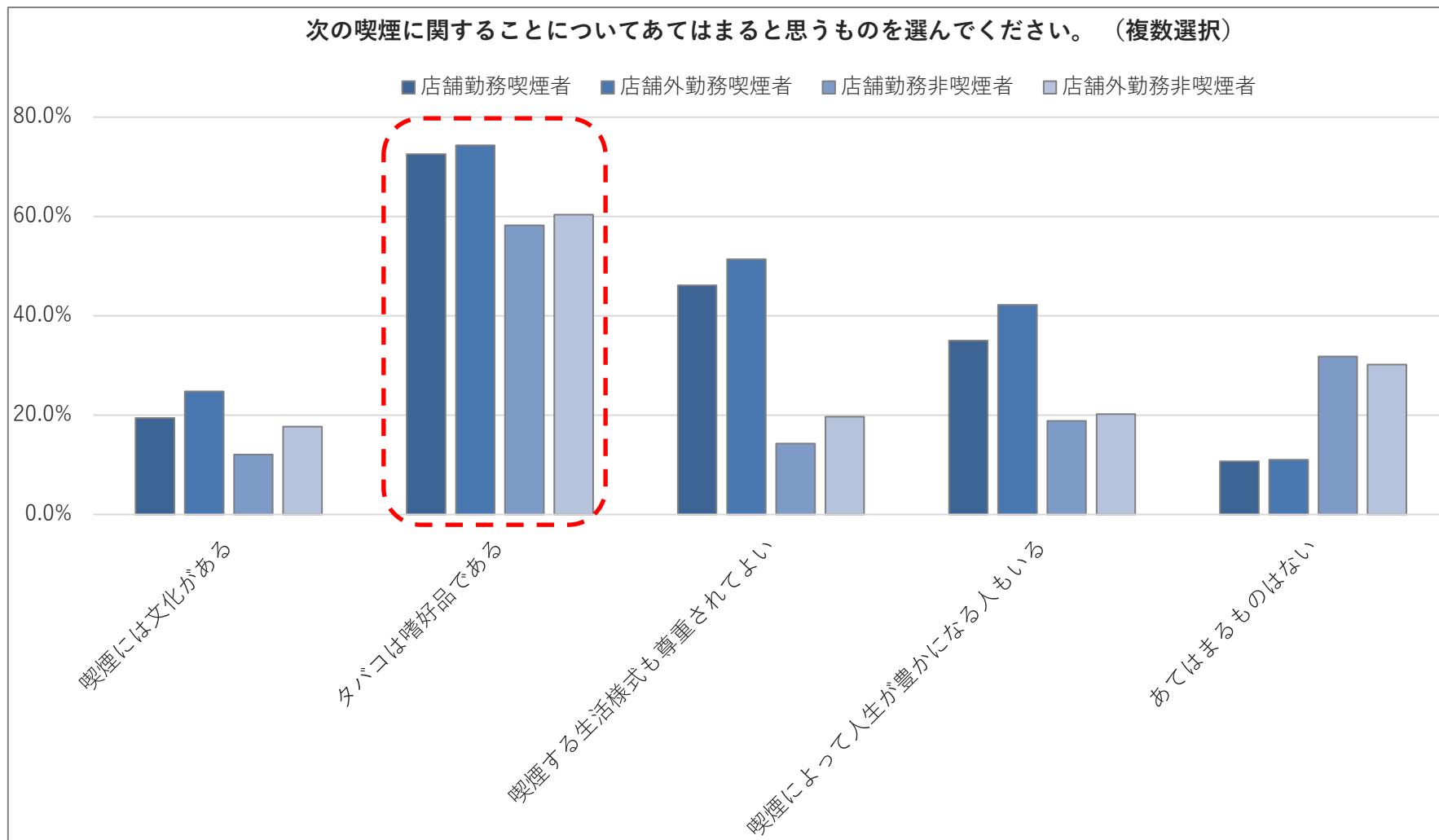
サードハンドスモーク（3次喫煙）をご存知ですか？



### 13. 主な活動報告

#### 合同アンケート調査の結果（抜粋）⑦

対象者の喫煙の有無にかかわらず、「タバコは嗜好品である」と6割近くが回答しており、特に喫煙者においてその割合が高い。



## 14. 主な活動報告

アウトプット② 店舗勤務者の禁煙を推進する資材を保険者共同で企画し、作成する。  
 ✓2つのテーマ（加熱式タバコ、サードHANDSモーク）のポスターを完成させた。

ポスター1:加熱式タバコ

**加熱式たばこも れっきとしたタバコです**  
 やめられない喫煙はニコチン依存症です

**Q 意外と知らない!? 加熱式たばこクイズ**

<p>健康リスクは少ない?</p> <p>加熱式タバコは、紙巻タバコと比べ有害物質に富まないこと、加熱式タバコを吸うと紙巻タバコほど有害物質に富むことが確認されています。</p>	<p>受動喫煙リスクはない?</p> <p>加熱式タバコの煙(エアロゾル)は、煙草の成分や燃焼の発生を抑制することで有害物質を減らします。喫煙場所以外では喫煙できません。</p>	<p>喫煙はストレス解消になる?</p> <p>ニコチン依存症(イライラ、多汗、唇の乾き、夜間に何度もトイレ(夜尿)から発生するタバコ臭)には、有害物質(アンモニア、ベンゼン)が含まれ、呼吸器を刺激することもあるとされています。</p>
---	---	--

「ハートフルな笑顔プロモーション活動」をチェックしてみよう!

これからの自分のために、家族のために、禁煙しよう

主催：大阪国際がんセンター・がん対策センター・がん予防センター  
 協賛：大阪府、大阪府がん対策推進協議会、大阪府がん対策推進協議会  
 制作：大阪府がん対策推進協議会

ポスター2:三次喫煙  
(サードHANDSモーク)

**接客中の三次喫煙に気づいていますか?**  
 接客でお客様に有害物質を浴びせている可能性が...

**三次喫煙?**  
 喫煙によって口や衣服の結核、多汗、唇の乾き、夜間に何度もトイレ(夜尿)から発生するタバコ臭には、有害物質(アンモニア、ベンゼン)が含まれ、呼吸器を刺激することもあるとされています。

**45分間は息から有害物質の排出が続く!**

**5分でも有害物質が衣類に大量に染みつく!**

職場に有害物質を持ち込まないために禁煙しませんか?

主催：大阪府がん対策推進協議会  
 制作：大阪府がん対策推進協議会

ポスター1:加熱式タバコ

### ■ターゲットとなる対象

店舗勤務者（喫煙者・非喫煙者両方）、若い世代向け

### ■期待する行動（目的）

加熱式タバコも紙巻タバコ同様に有害であること、受動喫煙のリスクがあること、ニコチン依存症（喫煙はストレス解消にはならない）について認識する。

### ■医療監修

大阪国際がんセンター 田淵 貴大先生

ポスター2:三次喫煙  
(サードHANDSモーク)

### ■ターゲットとなる対象

店舗勤務者（喫煙者・非喫煙者両方）

### ■期待する行動（目的）

喫煙後のタバコ臭には有害物質が含まれており、接客において注意すべき、三次喫煙（サードHANDSモーク）について認識する。

### ■医療監修

産業医科大学 大和 浩先生

## 15. 主な成果報告

### ■保健事業としての成果

#### アウトカム指標：

- ① 店舗勤務の喫煙者の特性に合わせたモデル事業を構築する。
- ② 各健康保険組合にて事業計画を立案する。

#### アウトカムまとめ：

- ① 店舗勤務の喫煙者の特性に合わせたモデル事業構築のため、コンソーシアムで検討した結果は以下に記載の通り。
- ② 各健康保険組合にて、合同アンケートの結果等を活用して事業主と協議してコラボヘルスを推進し、喫煙リスク等の情報発信・教育や、禁煙指導や禁煙外来費用の補助等の禁煙事業の見直しや新規事業を実施・計画した。また、共同制作した資材を店舗での掲示やICTを活用した配信などで活用した。※詳細は別ページ

#### ① 店舗勤務の喫煙者の特性に合わせたモデル事業（コンソーシアム内での検討結果）

- ✓ **リテラシー向上対策は全体へのアプローチを行う**：喫煙に関するリテラシー向上対策においては、喫煙者だけでなく、非喫煙者を含む全体へのアプローチを行う。
- ✓ **喫煙の新規開始を予防する**：新入社員への新入社員研修での喫煙に関する教育や、加熱式タバコの誤った知識による使用開始を防ぐためのリテラシー向上対策を行う。
- ✓ **トップダウンによる喫煙対策推進、職場環境改善**：トップダウンによる喫煙対策推進・職場環境改善が喫煙対策を推進する上で重要であるため、事業主へ禁煙対策の重要性を伝える（喫煙に特化した対策に反発がある場合は、健康という捉え方で事業主の理解を得て連携する、アンケートなどの生の声を活用するなど工夫する必要がある）。
- ✓ **さまざまなアプローチでの禁煙事業の実施**：リテラシー向上対策および禁煙保健指導や禁煙外来費用などの補助事業の案内においては、ポスター掲示、イントラでの発信、機関誌などの情報発信以外に、ICTやインセンティブを活用する、事業所別にランキングにするなど、アプローチを変えて、様々な方法により行う。

## 16. 主な成果報告

### ■保健事業としての成果

#### ② 各健康保険組合の事業計画の詳細 1/2

1. コラボヘルスの推進	
<b>実施済</b>	<p>健康保険組合・事業主でコラボヘルスの会議体や理事会組合会、健康推進会議（ユニオンや管理栄養士を含む）での協議・施策検討</p> <p>&lt;協議の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙に関するアンケート結果について共有。喫煙に対するリテラシーが低く向上していない/サードハンドスモークへの理解度が低い/喫煙者のうち朝食欠食者が半数/上司の喫煙者の組織は禁煙が進まないため、管理職者への教育が必要/禁煙対策として、就業時間内禁煙・休憩時間の禁煙を支持していることなど。</li> <li>毎月22日「禁煙デー」の実施を行っているが 喫煙に関するアンケートの結果、従業員の「禁煙デー」の認知度が高いことが判明。今後も継続して実施決定。</li> <li>理事会・組合会にて喫煙に関するアンケート内容を共有し、コラボヘルス事業として禁煙対策（オンライン禁煙プログラム、禁煙補助剤の配付、非喫煙者へのインセンティブ等）の予算が承認された。</li> <li>喫煙者割合の時系列変化・年代別・性別の実態および禁煙事業の参加状況。</li> <li>健康事業（特定保健指導や受診勧奨・禁煙など）を進めるために、職制を活かした活動へ変える。次年度取り組み健康状態を見える化＝ランキングすることを検討。</li> </ul>
	<p>役員会での情報共有や協議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙について現状と課題の報告を実施。時系列の変化状況、他チェーンとの比較、敷地内禁煙を導入後の変化。改善へ向けての課題としてサードハンドスモークへの対応、更なる禁煙活動への対応。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主では、喫煙ルール（テナント・警備員等含む）の厳格化がされた。喫煙許可申請制（半年に1回）、本数制限、時間限定、飲食・会話の禁止、ルール違反がいた場合は連帯責任で全面禁煙など。</li> </ul>
<b>実施予定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙活動への更なる取り組みの草案（就業時間内禁煙）を作成し事業主に提案。</li> </ul>



## 17. 主な成果報告

### ■保健事業としての成果

#### ② 各健康保険組合の事業計画の詳細 2/2

2. 喫煙リスク等の情報発信・教育	
実施済	機関紙にて、社内で禁煙成功者のインタビューとともに喫煙リスクについて発信。
実施予定	来年度の健康保険組合の禁煙事業の案内時、喫煙に関するアンケートを活用しながら情報発信。
	2023年春頃、アンケート結果を踏まえた三次喫煙等の正しい知識をイントラで情報発信。
	2023年4-5月の機関誌にて、受動喫煙(加熱式を含む)リスクに関する情報、禁煙事業の周知徹底。
	2023年5月、9月 ICT (Pep Up) を活用し、加熱式タバコのリスク・サードハンドスモークに関する情報発信。
	喫煙に関するリテラシーの向上は非喫煙者にも必要であることがわかり、ICT (Pep Up) を利用した喫煙者、非喫煙者ともに取り組める事業の検討。
	社内健康経営セミナーの研修会にて禁煙を組み入れる。
	アンケート結果を過去に実施したアンケート結果と比較検討し、産業衛生学会にて発表予定。
3. 禁煙指導等の実施や案内	
実施済	社内管理栄養士による特定保健指導実施時、喫煙者に対する受診勧奨実施。
	禁煙プログラムの実施案内を複数回にわたり実施。
実施予定	2023年度より健康保険組合で、オンライン禁煙プログラム、禁煙補助剤の配付、非喫煙者へのインセンティブなど禁煙施策を整える。
	2023年度にアンケートを実施し、禁煙の意思があるものに対しては、事業主から健康保険組合で実施するオンライン禁煙プログラム等の参加を促す。(5月31日の世界禁煙デー、元旦等、節目の日を目途)
	2023年度 禁煙事業委託業者の見直し。マンネリ化防止の観点から新規委託事業者との取り組みを開始する。WEBのみの禁煙補助も実施。

## 18. 主な成果報告

### ■共同事業としての成果

#### アウトカム指標：

共同で作成した資料を活用した、店舗で実践可能な対策案を事業主に提案し、加入者に向けて取り組み（介入）を実行する。

#### アウトカムまとめ（詳細は以下）：

共同制作したポスターの職制を活用した店舗配布、イントラ等での全社データ配信、ICT(Pep Up)を活用したデータ配信など、今年度の実行または来年度の実行を計画した。コンソーシアムでのディスカッションをもとに、新入社員への配布や二次検査対象者や特定保健指導対象者への配布なども計画された。

対象	活用方法	時期
店舗・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全店舗と営業本部に母体企業の健康経営部門と連名で店長宛てに2種類のポスターを配布</li> <li>② 全国の営業センターに2種のポスターをデータで配信 ※賛同がある場合は、職場の事務スペースに掲示</li> <li>③ 全店舗にポスターデータ2種類配信。</li> <li>④ 加入事業所すべてにポスター配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①は実施済。②-④は2023年4-5月頃禁煙デーに合わせて複数の健保で実施予定。</li> </ul>
被保険者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① イントラの掲示板にチラシデータを掲載</li> <li>② オンラインでの禁煙募集と共にポスターを掲載</li> <li>③ ICT (Pep Up) により、ポスターデータを配信。</li> <li>④ 健康イベント時に掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施済健保あり、2023年4月以降に実施予定健保あり。</li> <li>② 5月31日世界禁煙デーに実施予定。</li> <li>③ 実施済健保あり、2023年4月以降に実施予定、2023年度毎月22日に配布予定の健保あり。</li> <li>④ 2023年度以降随時実施予定。</li> </ul>
新入社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 入社式での研修時にチラシを配布</li> <li>② 保険証を配布する際、加熱式タバコ対策のポスター(A4)を同封予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年4月に複数の健保で実施予定。</li> <li>② 2023年4月随時実施予定。</li> </ul>
二次検査対象者・特定保健指導対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 定期健診二次検査書類一式にポスター (A4) を同封</li> <li>② 特定保健指導で使用する資料に掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2023年5-8月中心に配布予定。</li> <li>② 随時実施。</li> </ul>
加入者全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康保険組合ホームページの告知用スライドショーに掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 世界禁煙デーに向けて2023年4-5月に実施予定。</li> </ul>

## 19. 今後の事業運営方針

- ・ 令和4年度に実行または計画した事業の実施後の効果検証や課題や好事例の共有。
- ・ 事業の効果などを踏まえ、店舗勤務者により効果的な事業の検討、
- ・ 事業主との連携を促進し、コラボヘルスによる禁煙事業のさらなる推進



実施済・計画した事業の実施後の効果検証と、事例共有により  
店舗勤務喫煙者対策事業の更なる推進

店舗勤務者の  
喫煙率の低下



## 20. その他（運営における工夫点）

### 工夫した点

- ✓ 専門家講演前に、資料を事前配布。
- ✓ 合同でのアンケート調査を実施。その際に、各健康保険組合の業態・特徴などを踏まえ、意見を踏襲した上で、統一した設問項目を設定した。また、アンケートの設問においては、複数の専門家の意見を反映した。
- ✓ ディスカッションのグループ内のファシリテーター・発表者を事前に決めておき、参加者による主体的なディスカッションを実現。
- ✓ 各健康保険組合より、事業主の参加を促進し、コラボヘルス事業の推進。
- ✓ 健康保険組合や事業主の体制や方針により、実施できる事業に差があるため、各健康保険組合や事業主が取り組みの計画を立て、実行することを推進。

## 21. その他（感想・満足度）

### 参加健康保険組合・事業主担当者様のご感想 良かった点

（健康保険組合）

- 店舗勤務者が多いという同じ特性を持った健康保険組合同士で情報交換、アンケート調査が実施できたことがとても有意義であった。禁煙に対する動機づけや目的が共通することで、同じベクトルで話すことが出来た。禁煙以外にも共通する課題が多くあると思う。業態や業務内容が共通する他の健康保険組合様との情報共有の場が継続的にあるとありがたい。同じアンケートの結果を見ても、気付く方向・切り口が様々で、とても参考になった。母数の少ない当組合だけでは見えにくかった問題を参加健康保険組合の共通の課題として捉え、数度に渡り解決のために様々な意見交換ができた。自組合だけでは多岐にわたるアンケート項目を思いつかなかったので、喫煙者と非喫煙者の意識の違いや、健康保険組合の取り組みの認知度の低さなど、改めて確認することが出来てよかった。
- 店舗勤務者はタバコを吸いやすい環境であることは間違いないので、いかに禁煙に意識を向かせるか、心に響く訴えかけが必要。
- 喫煙率が高いのは自健康保険組合特有で下げることが難しいと諦めていたが、他健康保険組合様の企業連携を含めた地道な努力により、不可能ではないことを実績として知ることができた。
- 業種も運営形態も異なる業界の方々とのコンソーシアムで、当初はオブザーバー的に皆さんのお話を聞くだけと考えていましたが、実際に参加してみると思っていたよりも深く関わることができ、参考になるところも多くあり参加してよかった。
- 専門家の先生のご講演を拝聴し、新型タバコも含めた禁煙対策の必要性やナッジ理論による効果的な禁煙対策のヒントを熟考する良い機会になった。なぜタバコを吸い始めたかを紐解いても意味がなく、これから意識を向けるというお考えは、目から鱗だった。

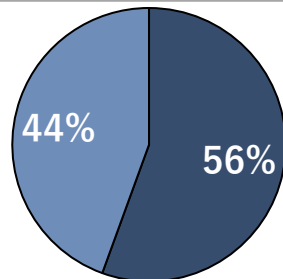
（事業主）

- 他健康保険組合様の取り組みにより、今後の喫煙対策のヒントをたくさん得ることが出来た。喫煙対策を講じる上で抱えている悩みや問題点について共感する部分があったことで大きな励みとなった。このような機会はなかなかないのでとても有難かった。
- 田淵先生や福田先生のご講演を拝聴し、新たな知識の獲得だけに留まらず、今後取り組みたい喫煙対策についても考えることが出来た。

### 参加健康保険組合・事業所担当者様のご感想 改善が必要な点

- お互いの立場や環境を理解するのに時間が必要となり、ディスカッションの時間が足りなかった。
- 開催回数・時間ともに少なく、参加はしているが自発的というよりは受動的で、事務局のリードに合わせて受講している感じが否めなかった。
- トライアンドエラーのサイクルを回すイメージの頻度があってもよいのではないか。
- もう少し様々な業種の健康保険組合や会社での取り組みを知ることが出来ると良い。

コンソーシアム参加満足度  
平均4.6 n=9



- 5 大変満足している
- 4 まあまあ満足している
- 3 どちらでもない
- 2 あまり満足していない
- 1 満足していない